

## 第2回職域生協交流会を開催しました！

3月6日（火）、東京臨海広域防災公園内にある防災体験学習施設「そなエリア東京」において『第2回職域生協交流会』を開催し、関係者も含め9名の参加がありました。

今回の交流会では大規模災害の発生に備えた防災・減災、自助・共助について体験と学習をおこないました。

東京臨海広域防災公園は国の災害応急対策の拠点として整備された国営公園で、その中に防災体験学習施設「そなエリア東京」があります。

今回の防災体験学習は、6階で映画を観てエレベーターで下降中に地震が発生したという想定で、実際に被災した仮想の地域を歩きながら防災に関するクイズに答えるという体験でした。また、防災グッズの展示コーナーもあり、模型などを見て実際に触れることができました。

その後、「そなエリア東京」の会議室を借りて、千葉県生協連水島災害対策アドバイザーによる災害に備えた学習会をおこないました。

学習会では、生活者側から見た課題として減災チェックをおこない、自助の大切さを学びました。また、少子高齢化、限界集落の急増など社会の急激な変化の中で、地域の防災協力体制の必要性についても学びました。現在、企業の地元貢献が活発になってきている中で、生協の災害時社会貢献のあり方が課題となっていることを共有し、各生協の防災の取り組みについて交流しました。



タブレットを使用した学習会



被災した地域の説明



会議の様子

以上